

民児協 あこう

支えあう 住みよい社会 地域から

第 61 号 令和 4 年 秋号



有年地区 友愛訪問



民生委員児童委員行動宣言

1. 安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献します。
2. 地域社会での孤立・孤独をなくす運動を提案し行動します。
3. 児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組みを進めます。
4. 多くの福祉課題を抱える生活困難家庭に粘り強く接し、地域社会とのつなぎ役を務めます。
5. 日頃の生活を活かし、災害時に要援護者の安否確認を行ないます。

全国民生委員児童委員連合会





退任を迎えて

このたび、赤穂市民生委員児童委員を任期満了し退任することになりました。長期にわたるご協力、ありがとうございました。さて、地域社会とそこに暮らす住民の抱える課題は近年ますます複雑化・深刻化しています。

生活保護受給など経済的困窮が拡大する一方、孤独死や、いじめ虐待の問題も、極めて深刻な状況です。

安全で安心な福祉のまちづくりの推進など、住民同士の助け合いや支え合いが重要で、民生委員児童委員に対する期待が、ますます高くなっています。

新任、再任の皆様におかれましては引き続き住民の最も身近な支援者、相談者として住民の立場に立った活動をされることを期待してご挨拶とさせていただきます。



会長 水野 亮

活動を振り返って

児童福祉部会

任期の3年が終わります。この間新型コロナウイルス感染症に翻弄され満足な活動ができませんでしたが、児童に関しては大きな変化の3年間でした。これまで児童の問題はいじめが主流でしたが、令和2年は貧困・虐待が話題となり、法律も改正され「親権者による体罰が禁止」となりました。令和3年から4年は「成人年齢18歳」が、そして、令和4年は「ヤングケアラー」が話題となりました。

前述の通り、この3年間に児童の問題は大きくかつ複雑に変わりましたが、私達のできることは早く気づき支援に繋げることであり、今後も忘れることなく児童に関心をもっていきたいと思っています。

この3年間活動にご協力頂き、ありがとうございました。

障がい者福祉部会

新型コロナウイルス感染症の拡大で部会活動は、終始右往左往の連続でした。私たちの生活様式は大きく変化し、障がい者の暮らしは一変してしまいました。新たな価値観が日常生活に障壁をつくりだしたのです。厳しい3年間の環境の中で最も印象に残った研修は、令和2年7月民児協研修「障がいのある人と共に暮らすために」です。ポイントは、自宅の鍵を見失い途方に暮れていた障がいのある女性を近隣の元民生委員が状況を把握、地域の民生委員、関係機関と共に情報を共有、三位一体で解決をした事例です。レスポンスある連携は、「小さな見守りコミュニティ」からでした。この3年間無事に計画を遂行できたのは委員、事務局関係、ボランティア各位の協働のお陰でした。新たな部会活動に向けては「障がいのある人とふれ合うことが理解に繋がる」をモットーに努め、発展に期待します。

高齢者福祉部会

高齢化が進み、長くなった老後を心豊かに過ごすには、社会性を保つことや人と人との関わりが益々大切になってまいります。また高齢者を困む諸問題も多様化しております。微力ながら地域社会貢献に繋がればとの思いでこの3年間活動してまいりました。

講師をお招きして「支えあいの地域づくり」や「心肺蘇生法」「フレイル予防」をテーマにした研修会の実施、また、近年多発する消費者トラブルや特殊詐欺・振り込め詐欺・悪質商法等について、実態の把握と共に、理解を深めることに取り組んでまいりました。

また、今年は判断に迷う厳しい状況にありましたが、市外視察研修を敢行できたことは実りある活動となり大きな喜びとなりました。これまでの活動にご協力頂いた皆様に心よりお礼を申し上げます。

主任児童委員

主任児童委員は、各中学校区に1人います。5人で子育て支援・児童健全育成・個別援助の3つを柱に活動しています。

児童館を回り、音遊び、絵本の読み聞かせ、簡単な工作を通して保護者の方の子育ての大変さや悩みを聞き、何か役に立てることはないかと活動しました。各地区の民生委員児童委員に協力して頂き、児童がより良くすごせるよう課題の改善に努めました。

コロナ禍、色々な行事の中止や制限があり活動は大きく制約されました。今年度は人数制限があるものの地域児童育成環境づくりフォーラムや全県研修が実施されました。研修や活動の機会もコロナ禍前に戻りつつあります。



民生委員児童委員各地区活動報告

赤穂地区「小学生との交流」

赤穂地区民生児童委員会は、昨年赤穂小学校との交流を深め、児童に目を向けています。その延長で、この春から、『おはようデー』とネーミングされた小学校の登校の見守りを始めました。二学期が始まった9月1日も児童の方から「おはようございます。」と元気の良い声が聞こえていました。南門に立った陰山委員は、「小学生は元気がよくて、おもしろいね！」と笑顔いっぱい話されていました。



城西地区「給食レシピ研修会で交流」

城西地区は7月5日(火)に、早かごセミナー「みんなで楽しく健康づくり(高齢者の栄養・食事)」をテーマに講師を迎えて、給食レシピ研修会を開催しました。

コロナ禍、手作りのお弁当を届ける給食サービスが、再開できない状況が続いています。地区の行事も中止が相次ぎ、地域福祉推進委員同士の交流の機会があまり持てませんでしたが、今後の給食活動に活かしていきたいと考えています。

塩屋地区「夏の友愛訪問」

前回より、対象者が50人余も増えた友愛訪問を8月6日(土)に実施しました。『涼』を届けようと素麺と素麺つゆを持って出発。例年になく酷暑が続く夏。体調を崩していないかと心配しながらの訪問でした。玄関に出て来られた顔を見てホッと一安心。コロナ禍で長くはお話できませんでしたが「熱中症に気をつけてお元気で」と声をかけると「ありがとうございます」の返事とともに、暑さも吹っ飛ばすような笑顔が返ってきました。



西部地区「笑顔」

毎年、9月中旬に米寿、白寿を迎えた方のお家を訪問し、祝金をお渡ししています。今年も、米寿を迎えた方のお家を訪問したところ、笑顔で出迎えてくださいました。祝金をお渡しする際に「次の白寿を目指して、健康に気を付けて、いつまでも元気でいてくださいね」と伝えると、「ありがとうございます」と素敵な笑顔で応えてくださいました。その日は、天気も良く、楽しいひと時を過ごすことの出来た訪問となりました。これからも人と人とのつながりを大切に活動していきたいと思えます。

尾崎地区「災害ボランティアセンター開設訓練に参加」

8月20日(土)に福祉会館前の駐車場で「ボランティアの受付訓練」に参加しました。

参加者を3グループに分けて「スタッフ役」「通常のボランティア役」「イレギュラーなボランティア役」を順番に交替しながらの訓練です。

2030年代に発生が予想される「南海トラフ大地震」に備えて各地で様々な訓練が実施されています。なるべく多くの防災訓練に参加して意識を高め減災に努める必要があります。





民生委員児童委員各地区活動報告

御崎地区「4校園所長と懇談会」

7月29日(金)御崎公民館において、4校園所長と民生委員の懇談会を行いました。最初に自己紹介を行い、学校園所長より教育活動方針と学校での児童の様子等を話して頂き、続いて御崎駐在所より校区内の事案の紹介と、防犯・交通事故等の話を伺い、その後懇談会に移り、先生方への質問や、コロナ・熱中症への対応をお聞きしました。

民生委員は児童委員を兼ねており、今後も子供の健やかな成長を願いつつ、地域の応援団として活動を行っていきたいと思っています。



坂越地区「頑張ったね！運動会」

10月1日(土)9時 坂越小学校の運動会。夏のように暑い秋晴れです。初めに軽快なリズムに合わせ、全校生徒によるラジオ体操。キビキビと元気いっぱい！！

一人ひとりが練習の成果を出し切って見事な演技。そして何より楽しんでる様子に感動。子供の頃を思い出し元気を頂きました。生徒、先生方に感謝の一日でした。

一日も早く色々な行事ができる環境に戻ってほしいと願っています。



高雄地区「た・か・お の心で」

高雄地区の福祉推進連絡会では、まちづくり連絡協議会と連携しながら、三代交流事業をはじめ、さまざまな活動を行っています。

今年も「たすけあう かかわりあう おもいあう」の精神で、地域福祉推進委員一同コロナ禍の中、出来ることを精一杯頑張っています。



有年地区「コロナになっても負けないぞー」

そうめん、お菓子をみやげに、友愛訪問を行いました。

コロナ禍であります。皆様お元気でなによりです。しかし、かく言う私は、8月初め不覚にもコロナに感染、10日間の自宅隔離となりました。三密は心して避けましたが手指の消毒が不十分だったかと反省しています。12月から一部新しい民生委員児童委員に変わる地区もあります。コロナ感染に注意し、元気に楽しく、朗らかに過ごしましょう。



広報部会

2020年1月国内初の新型コロナウイルス感染症が発症し、あっという間に3年近く経過しましたが、いまだに威力は衰えず無症状感染者も増加しています。

入学式・卒業式等の各行事、地域の催事また入院時の面会制限、身近な方に陽性者が出た事による外出規制、子供さんの発熱、4回目のワクチン接種等不安な生活が続いています。

この様な状況下で各地区の民生・児童委員、地域福祉推進委員、主任児童委員、児童福祉部会・障がい者福祉部会・高齢者福祉部会の活動状況を『民児協あこう』にて多くの市民の皆様にお伝えする為に取り組んでまいりました。関係各位の皆さま、3年間の活動にご協力を頂き、ありがとうございました。